

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》○土田 正一郎（非） 井上 誠士郎（非） 下出 崇輝（非） 賀古 勇輝（非） 鈴木 和

【概 要】

本講義は精神医学 のアドバンスト・コースとして、精神医学 で学ばなかった器質性精神障害、精神作用物質使用による精神および行動の障害等の理解を深めるとともに、精神科の治療法（薬物療法、身体療法、精神療法）、リハビリテーションなど臨床で行われていることを学ぶ。また、疾病構造の変化に伴う外来医療、在宅医療、入院医療の現状を統計的データと共に学ぶ。精神医学 では、精神科に関連した時事問題も取り扱う予定としている。

【学習目標】

精神保健福祉の課程をより深めるために、以下の2点について学ぶ。

1. 精神科特有の治療法も含め、どのような療法があるか理解する。
2. 年々疾病構造が変化し医療の受け方も変わっている現状を知る。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	精神疾患の治療	精神科薬物療法	下出
2	精神疾患の治療	電気けいれん療法などの身体療法 精神療法	下出
3	精神疾患の治療	精神科リハビリテーション 環境・社会療法	下出
4	精神科医療機関の治療構造および専門病棟	疾病構造の変化 外来診療	土田
5	精神科医療機関の治療構造および専門病棟	在宅医療（訪問診療・往診） 入院医療	土田
6	精神科医療機関の治療構造および専門病棟	当事者・家族との協同	土田
7	精神科医療機関の治療構造および専門病棟	医療観察法対象者の支援	賀古
8	精神科医療機関の治療構造および専門病棟	チーム医療	賀古
9	世界での保健医療の現状	イタリア・フィンランドの精神医学の現状と課題	井上
10	精神科治療における人権擁護	精神科治療と入院形態 インフォームドコンセント	下出
11	精神科治療における人権擁護	隔離、拘束のあり方	下出
12	精神科治療における人権擁護	精神科救急医療システムとその対象 移送制度による入院	下出
13	精神医療と福祉および関連機関との間における連携の重要性	治療への導入に向けた支援 再発予防のための支援	鈴木
14	世界での保健医療の現状	世界の保健医療の現状を学生同士で議論する	井上
15	精神医療と福祉および関連機関との間における連携の重要性	退院促進の支援 授業のまとめ	鈴木

【評価方法】

定期試験100%

【備 考】

教科書：新・精神保健福祉士養成講座編『1 精神疾患とその治療』第2版（2016）中央法規

参考書 ： 授業で紹介する。

その他 ： この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「精神疾患とその治療」に該当する。

【学習の準備】

- ・精神障害について、常日頃から広く興味関心を持ち、教科書や参考書、図書館の関係資料（新聞や雑誌、画像）を講義前、講義後に見ておくことが望まれる。
- ・予習は、次回の授業範囲の教科書を読んで、理解しておくこと（80分）。
- ・復習は、教科書、プリントなどを活用し、学習を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3

【実務経験】

土田 正一郎（医師） 井上 誠士郎（医師） 下出 崇輝（医師） 賀古 勇輝（医師）

【実務経験を活かした教育内容】

医師としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。